

Claude CodeではじめるAI駆動開発入門【会場】（4126276）

AI駆動開発の未経験者を対象に、Claude Codeを入口としてAI駆動開発を体験してもらう、入門レベルのハンズオン型セミナーです

開催日時	2026年11月18日(水) 10:00-17:00会場	
JUAS研修分類	データ・AI活用・技術動向(AI・新技術 検証)	
カテゴリー	IS導入（構築）・IS保守 専門スキル	
講師	小林弘典 氏 （NRIセキュアテクノロジーズ株式会社 研究開発センター インテリジェンス統括部 エキスパート・セキュリティリサーチャー） グローバルSIerやコンサルティングファームで、サイバーセキュリティやシステムリスク関連のサービスに従事。 直近では、サイバーセキュリティに関するリサーチ活動やAIを活用したシステム開発・サービス開発に携わっている。	
参加費	JUAS会員企業/ITC：35,200円 一般：45,100円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】	
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（NBF東銀座スクエア2F）	
対象	・AI駆動開発の導入を検討しており、まず基礎を体系的に押さえたい方 ・生成AIによるコード生成を試した経験はあるが、業務適用の判断基準を持てていない方 ・部門やチームへのAI活用推進を担当し、自身で一度体験しておきたい方 ・AI生成物の品質保証について、考え方の枠組みを把握したい方 ■ 前提知識 【必要】ソフトウェア開発プロセス（要件定義・設計・テスト）の理解 【必要】基本的なITリテラシー（ファイル操作、CLIによる操作） 【不問】HTML・JavaScript等のプログラミング言語の知識（ソースコードを読解できなくとも受講可能です） 【不問】AI駆動開発・バンプコーディングの実務経験（未経験者を想定とした構成です） 中級	
開催形式	講義、演習	
定員	25名	
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）	
特記	・当日、要件を満たすPCをお持ちいただける方 ・Claude Codeは、Claudeの有料プラン（現Pro Plan）での利用が前提となります。無料プランでは受講いただけません。	
ITCA認定時間	6	

主な内容

■受講形態

会場のみ（オンラインなし）

■テキスト

当日配布

■開催日までの課題事項

事前に下記の要件を満たすPCをセットアップし、当日お持ちいただける方

1. 前掲のソフトウェア導入およびアカウント準備（Claude Codeの導入を含む）

2. 教材リポジトリの取得

3. 動作確認：受講前日までに、教材アプリケーションがご自身のPCで起動することをご確認いただきます。

動作確認手順の詳細は、セミナー開催7日前を目途に別途ご案内します。

◆ Claude有料プランのご契約について

本講座で使用するClaude Codeは、Claudeの有料プラン（現Pro Plan）での利用が前提となります。無料プランでは受講いただけません。

当日会場での初回契約は設定不備の原因となるため、事前のご契約と動作確認をお願いしています。

生成AIに自然言語で指示を出してコードを生成させる開発手法は「バンプコーディング」と呼ばれ、2025年以降急速に普及しました。

プロトタイプの作成や要件の可視化において、その速度は従来の開発手法を大きく上回ります。

一方で、業務システムへの適用にあたっては次の課題が指摘されています。

- ・品質を判定する基準が存在しない：生成されたコードの正しさを判断するベースラインがなく、レビューが成立しにくい
- ・セキュリティ上の懸念：例外処理や境界条件の考慮漏れ、実在しないライブラリの参照などが混入する
- ・組織としての統制：業務データを外部のAIサービスに提供する際の判断基準が整備されていない

これらを解消し、AIを開発プロセス全体に組み込む考え方が「AI駆動開発（AI-Driven Development）」です。
実装工程に限定されるパイプコーディングに対し、AI駆動開発は要件定義・設計・テスト・運用・統制までを対象とします。

本講座は、AIコーディングエージェントによる実装を出発点とし、その成果物を検証する手順と、業務適用にあたっての統制の考え方を、1日を通して体験する入門講座です。

■ 本講座の目標

本講座は入門講座です。AI駆動開発を実務で運用できる状態を目指すのではなく、その入口となる一連の流れを体験し、理解することを目標としています。

◆ 1. AIコーディングエージェントによる開発の流れを体験する

自然言語による指示だけでアプリケーションが動作するまでを、実際に手を動かして体験します。
あわせて、AIに委ねる範囲と自身で判断すべき範囲がどこで分かれるのかを、演習を通じて確認します。

◆ 2. AI生成コードを検証する手順を理解する

1つの機能を題材として、実装を依頼する前に受け入れ基準を定義し、テストによる検証と修正の指示までを一通り実践します。
個別の題材への対応を通じて、検証という工程の必要性和進め方を理解することを目的とします。

◆ 3. 業務適用にあたっての論点を把握する

AIに提供してよい情報の範囲をどのような観点で判断するか、その枠組みを整理します。
プロジェクト単位の指針として記述する方法もあわせて扱います。

【本講座の位置づけについて】

本講座で扱うのは、限定された題材による演習です。
実務における多様なケースへ応用するには、AI駆動開発の応用知識と継続的な実践が必要となります。
本講座は、その最初の一步を体験していただくものとお考えください。

■ カリキュラム構成

各ハンズオンは、講師による解説を先に行い、その後受講者が同じ手順を実践する形式で進行します。
演習には準備済みの教材を使用するため、開発環境をゼロから構築する作業は含みません。

◆ 第1部 AIコーディングエージェントによる実装

- パイプコーディングの手法により、小規模なWebアプリケーションを実装します。
- ・AIコーディングエージェントの基本操作（チャット型生成AIとの違い、実行内容の承認、計画の事前確認、作業状態の保存）
 - ・作業の前提をAIに伝える方法（CLAUDE.mdによるコンテキストの設定）
 - ・【ハンズオン】自然言語による指示のみでのアプリケーション実装

◆ 第2部 AI生成コードの品質検証

- 第1部で実装した成果物を対象に、品質を検証する手順を実践します。
- ・AI生成コードに生じやすい問題の傾向（動作はするが要件を満たさないケース）
 - ・実装依頼に先立つ受け入れ基準の定義（仕様駆動開発の考え方）
 - ・【ハンズオン】完成条件の言語化と、それに基づく実装依頼
 - ・【ハンズオン】テストによる検証と、結果にもとづく修正指示
 - ・AIコーディングエージェントの動作原理（コンテキストエンジニアリングの基礎）

◆ 第3部 業務適用に向けたセキュリティとガバナンス

- 組織としてAI駆動開発を導入する際に必要となる論点を整理します。
- ・AIに提供してよい情報の判断基準（情報漏えいリスクの整理）

- ・ AI活用に伴う留意点（生成物の誤り、ライセンス・法令上の論点）
- ・ 判断基準をプロジェクト単位で明文化する方法
- ・ [デモンストレーション] 外部システムとの連携（MCP／Model Context Protocol）

■ 受講環境

◆ 受講者側でご用意いただくもの

PC：Windows 10／11 または macOS（Intel／Apple Silicon）、メモリ8GB以上推奨。1人1台
ネットワーク：安定したインターネット接続
ソフトウェア：Visual Studio Code、Gitクライアント、Node.js（Active LTS版）、最新版のWebブラウザ
アカウント：Claude有料プラン、GitHubアカウント

◆ Claude有料プランのご契約について

本講座で使用するClaude Codeは、Claudeの有料プラン（現Pro Plan）での利用が前提となります。無料プランでは受講いただけません。
当日会場での初回契約は設定不備の原因となるため、事前のご契約と動作確認をお願いしています。

◆ 企業ネットワーク・VPN経由でご参加の場合

会場のネットワークは弊社にてご用意しますが、自社ネットワークへのVPN接続が必須の端末では、社内のプロキシおよびファイアウォールの設定が影響します。
お申し込み前に、ハンズオンに必要なWebサイトへの疎通確認をお願いします。

【Claude Codeの通信要件】

Claude Codeが必要とする接続先は、提供元であるAnthropic社の公式ドキュメントに一覧が掲載されています。
仕様は更新されるため、申請にあたっては必ず以下の最新版をご参照ください。
Enterprise network configuration（Anthropic社 公式ドキュメント・英語）
<https://code.claude.com/docs/en/network-config>

主な接続先は次のとおりです（いずれもHTTPS／443）。
導入方法によって必要なものが異なるため、下記は双方を含めた範囲を示しています。

API通信
api.anthropic.com

アカウント認証
claude.ai
claude.com
platform.claude.com

導入・更新（npm経由の場合）
registry.npmjs.org

導入・更新（インストーラ経由の場合）
downloads.claude.ai

※ claude.com および platform.claude.com は anthropic.com の配下ではないため、ドメイン単位の許可設定では対象から漏れる場合があります。個別のご指定をお願いします。

【本講座で使用するその他のツール】

上記の公式ドキュメントには含まれないため、あわせてご確認ください。
教材リポジトリの取得
github.com
codeload.github.com
objects.githubusercontent.com

開発環境の導入
nodejs.org

【端末管理ポリシーに関する確認事項】

- ・ Node.jsおよびClaude Codeの導入が、実行ファイルの許可設定により制限されていないこと
- ・ 教材アプリケーションはローカル環境でWebサーバーを起動します。ローカル接続が制限されていないこと